

南相馬市プロジェクト研究 研究員募集要項

本プロジェクト研究は、南相馬市における地方創生及び人材育成の推進を目的とする。

令和4年度テーマ

「南相馬鹿島サービスエリアのポテンシャル、多様な
地域資源を活用した事業構想の構築」



2022年5月開講



持続可能な地域づくりのためには、課題への的確なアプローチとともに適切な課題解決策の提示が必要です。各企業においても新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。

気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する住民ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

南相馬市プロジェクト研究は、

- ・南相馬市鹿島区を舞台にその周辺を含めた地域全体を盛り上げるための事業を構想することを通して新事業を開発するスキルを学びます。
- ・今回募集するプロジェクト研究では、「南相馬鹿島サービスエリアのポテンシャル、多様な地域資源を活用した事業構想の構築」をテーマとします。
- ・異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索を実践します。
- ・11か月間（2022年5月～2023年3月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、プロジェクト研究終了後においても、それぞれの企業・団体において価値創造を担う人材を育成します。



門馬 和夫市長

東日本大震災の発生から11年が経過します。震災前の日常生活を取り戻すため、復興事業に取り組んできましたが、復旧・復興が進捗する中で新たな課題が生まれています。課題が複雑多様化し、これまでの手法が通用しない状況を実感しています。

南相馬市では「100年のまちづくり」を政策目標とし各種施策に取り組んでいます。このまちを着実に再生し、未来に継承するためには、自ら課題を見つけ出し、その課題を解決できる人材が必要不可欠です。意欲ある皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

事業構想大学院大学の体系的で実践的なカリキュラムと、多彩な教員・研究員との知の共有・探求を通じて、参加された方の1年後の飛躍的な成長を確信しています。

研究フィールドについて

南相馬鹿島サービスエリアは、年間約120万人が利用する施設です。南相馬市鹿島区は、ほかにも真野川漁港や全国有数のサーフスポットなどの地域資源を有しています。本プロジェクトでは、これらの地域資源を核とし、鹿島区、南相馬市、ひいては福島県浜通りを活性化するための事業を構想していただきます。

南相馬市



人 口：58,469人(令和3年12月31日現在住民登録)

世帯数：24,406世帯

面 積：398.58km²
(うち約55%が森林、約21%が農用地)

- 平成18年1月1日に旧鹿島町、旧原町市、旧小高町が合併して誕生
- いわき市と宮城県仙台市の中間に位置する浜通りの中核都市



産業・経済：田園都市として、産業・経済集積は浜通り地方北部最大。農業は水稻中心。工業は電気機械、一般機械、紙・パルプを中心に、農商工一帯の産業振興を図っている。

自然条件：年間平均気温が12℃前後で、夏は涼しく、冬は降雪の少ない温暖な気候。山・川・海の豊かな自然環境に恵まれている。

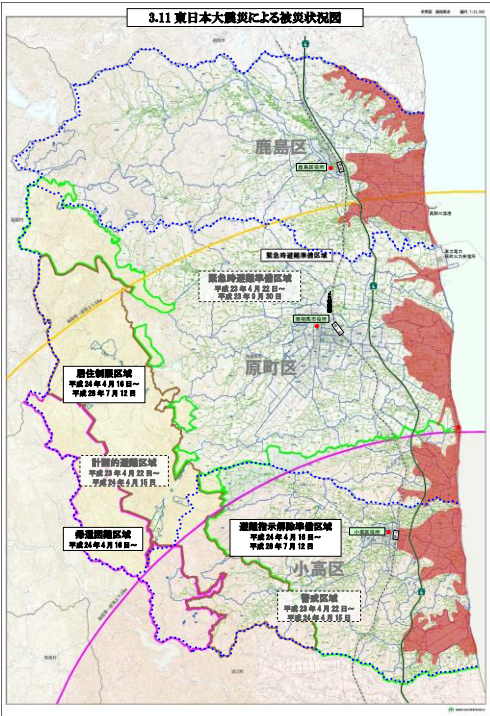
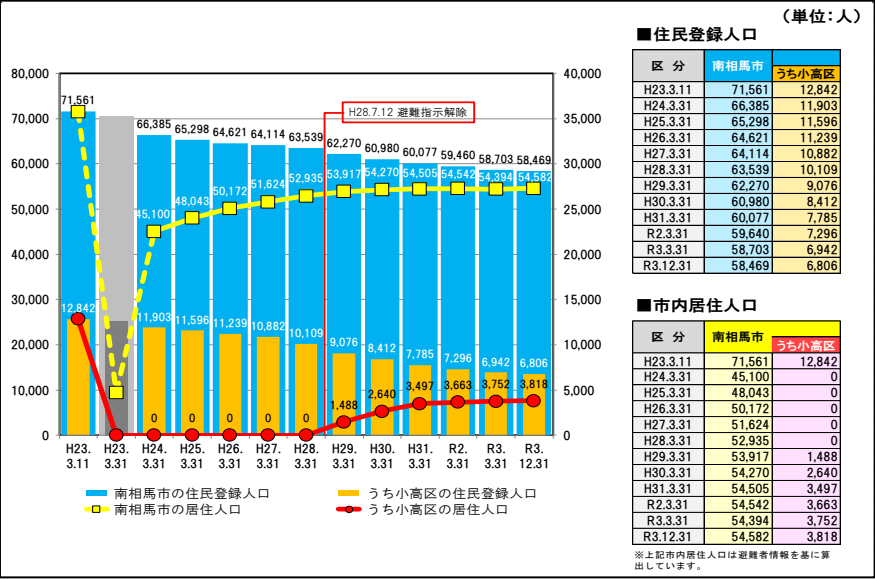
観光文化：1,000年以上の歴史を持つ国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」をはじめ、多くの文化財を有している。海岸線には、北泉海浜公園を中心に、海水浴やサーフィンの名所となっている。



研究フィールドについて

東日本大震災の被害状況

- 平成23年3月11日14時46分、最大震度6弱の地震発生
- 本震発生から約50分後、鹿島区の海岸に津波到達（遡上高20.8m）
市の面積の約10%に当たる40.8km²が浸水
- 東京電力福島第一原子力発電所の原子炉建屋が相次いで水素爆発
市内が警戒区域（原発から半径20km圏内）、緊急時避難準備区域（同30 km圏内）、指定なしの区域等に分類
- 原発事故に伴う放射性物質の影響に不安を抱いた多くの市民が、市外へ避難。



鹿島区

- 南相馬市北部に位置
- 人口：10,184人（令和3年12月31日現在）
- 区のほぼ全域が福島第一原子力発電所から半径30 km圏外
- 漁港を有し、海岸は全国有数のサーフスポットとしても有名

南相馬鹿島サービスエリア（セデッテかしま）

- 平成27年4月オープン
- 営業日 年中無休
- セデッテかしま施設概要
レストラン、土産物販売、テナントエリア（山賊焼き、たこ焼き、フルーツジュース等）、コミュニティスペース、ボールトランポリン、ドッグラン
- 常磐自動車道において、県内唯一のサービスエリア
- 令和3年7月に入込客数700万人突破（約120万人/年）



【参考】南相馬市で進行中の事業

ロボット産業の集積とベンチャーエコシステムの形成

- 福島ロボットテストフィールド(ロボテス)を中心に、市内に約40社のロボット分野を中心としたベンチャー企業が集積
- 貸工場・事務所や工業団地も提供中で多くの企業が入居
- 35のベンチャーキャピタル・金融機関と市が協定し、資金調達環境も整備
- ロボテス内だけではなく市内各地で最先端の実証実験が行われており、日本一実証しやすい環境を提供
- 実証から研究開発、工場設置までの様々なステージに対応したベンチャーエコシステムを形成



国際教育研究拠点との連携とフロンティアパーク（産業団地）の整備

- ロボテスをはじめ、浜通り地域にイノベーションを興し新たな産業基盤を構築する、福島イノベーション・コースト構想の中核拠点として、国は福島県浜通りに国際教育研究拠点の設置を計画。
- 新たに小高復興産業団地（フロンティアパーク）の整備を計画。国際教育研究拠点との相乗効果が期待できる新たな産業を小高区に集積し、賑わいと雇用を創出。市内で最も大きな被害を受けた小高区に拠点を形成することにより、南相馬市のさらなる復興の推進を目指す。



移住者が活躍するまちづくり、子育て世代に選ばれるまちづくり

- 小高区では、地域おこし協力隊の制度を活用して、若手起業家が地域課題の解決と持続可能な“なりわい”づくりを目指すNext Commons Lab南相馬(NCL南相馬)が活動中。
- 若い移住者が市内各地で新たな取組にチャレンジしている。
- 医療費は18歳まで無料、幼稚園・保育園を無償化するほか、令和4年度からは中学校までの給食費を無料化するなど、子育て世帯を全面的にバックアップ。
- こども園から中学校までの英語教育を大幅に強化。こども園から体系的にフォニックス学習を採用。プログラミング教育では「あるくメカトロウィーゴ」を導入するなど、南相馬オリジナルの教育環境を整備中。
- 宝島社「住みたい田舎ベストランキング」において2022年2月版の「若者世代・単身者が住みたいまち」「子育て世代が住みたいまち」で東北エリア第3位に選ばれる。全国第1位を目指して施策を実行中。



日本の農業をリードする人材の育成・輩出

- 将来の姿として農林水産業と最先端技術の融合が大幅に進み、再び地域の基幹産業になっていることに加え、グリーンかつ持続可能な産業として確立されていくことが予想される。
- ロボットをはじめとする最先端技術を研究する事業者が集積している地域特性を生かし、最先端技術を活用した農業を行える人材の育成・輩出を行う教育機関の整備を検討中。
- 単に農業を復興させるだけではなく日本の農業をリードする地域となることを目指す。

南相馬市プロジェクト研究の概要と特徴

南相馬市プロジェクト研究の全体概要

新事業の開発を行う11か月間の研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う11か月間の研究会です。

1人の担当教授と10人程度の研究員

研究会は、原則10人程度の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めていきます。

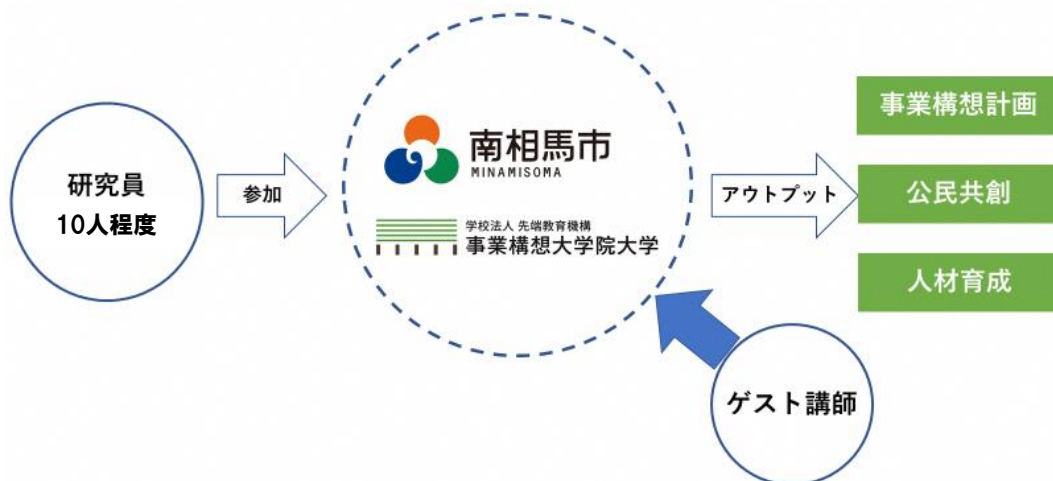
11か月間で24回開催

定例の研究会は、11か月間で24回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業構想を構築していきます。

「研究員」という資格を付与

研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。大学院附属研究所の研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。

南相馬市プロジェクト研究(イメージ)



本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを1年間執り行います。



南相馬市プロジェクト研究の概要と特徴

南相馬市プロジェクト研究 5つの特徴

1：具体的なテーマによる実践的なカリキュラム

「南相馬鹿島サービスエリアのポテンシャル、多様な地域資源を活用した事業構想の構築」という具体的なテーマのもと、様々な事例の検討を通じて事業の発想力を拡張していきます。

2：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

3：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

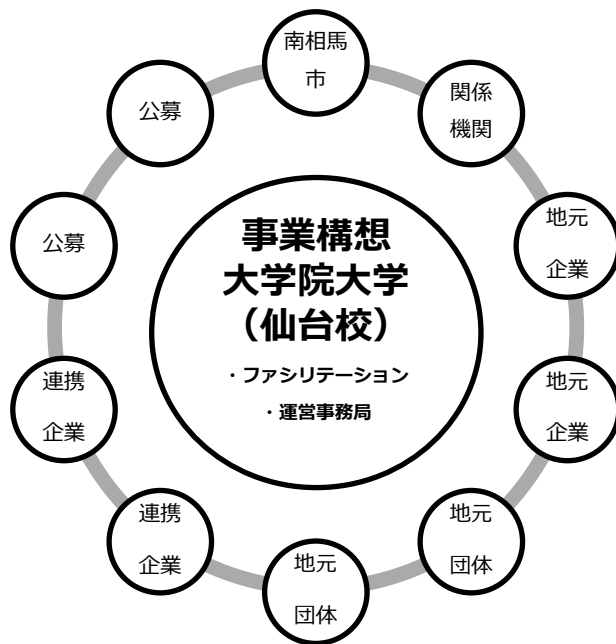
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

4：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、地域活性の分野における第一人者から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

5：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



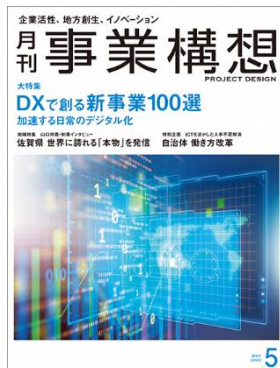
研究員の対象となる方

- ・ 人脈や技術など、経営資源を再定義し新事業を策定したい方
- ・ 社会を洞察しながら、時代に即した新しい事業を立ち上げたい方
- ・ 参加者やゲスト講師、自社のステークホルダー等と、共創事業を立ち上げたい方
- ・ 顧客の深いニーズ、課題を把握して、新たな事業やビジネスモデルを構想したい方
- ・ 今後、社内の中核となっていく幹部候補の方
- ・ 南相馬市をよりよくしたいという熱い想いを抱いている方
- ・ 南相馬市に移住して新規事業を立ち上げたい方
- ・ 新たに市内で事業展開することにより地域を盛り上げたいという意欲を持っている方など

南相馬市新事業プロジェクト研究の概要と特徴

最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

サポート体制

●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクト研究に招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員ごとに事業構想計画を策定します。

事業構想計画書作成

- ・ 各研究員が、1点以上策定する。
- ・ テーマに沿って計画書を作成する
- ・ 構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想

概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想

コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画

販売構想（チャンネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想

組織・人事構想

5. 資金構想計画

概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略

プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

7. 想定される障害と対策

8. スケジュール

募集概要

プロジェクト期間

全24回、実施期間：2022年5月～2023年3月

公募人数

2人程度

※定員を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、4月28日（木）までにご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

会場

南相馬市内会場＋オンライン

対象

熱い想いをもち、自社や自団体の経営資源や自身の技術を活用して、
南相馬市の地方創生及び人材育成の推進に資する新事業の開発を目指す方
(企業・団体からの推薦による応募可。個人としての応募も可。)

プロジェクト構成員

教授、客員教授、プロジェクト研究員、ゲスト講師

申し込み期限

締め切り：2022 年 4月 15 日（金） 申込書類必着

申し込み書類

研究申込書、個人調書、研究志望書※

※形式自由。A4版1枚程度で、本研究会で取り組みたい内容を記載してください。

例：目的、背景、取り組みたいテーマ、想定する成果 等

申し込み方法

申し込み書類一式を本学宛に郵送、もしくはお問い合わせフォームから連絡

研究参加費

無料（交通費等は自己負担となります）

共催

南相馬市

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

その他

南相馬市プロジェクト研究の実施は、南相馬市令和4年度一般会計予算の成立が前提となります。



青山 忠靖

(あおやま ただやす)

事業構想大学院大学 特任教授
公益社団法人兵庫県育才会 理事長
株式会社ジェムコ日本経営 パートナーコンサルタント

地域デザインによる地域創成事業支援を専門とする。

1978年3月 日本大学藝術学部放送学科卒業、同年4月 株式会社博報堂に入社し17年間勤務。

1995年に博報堂の協働機関を起業、セールスプロモーション、PR制作、雑誌編集/執筆等に携わる。

2006年以降、外資・国内コンサルティング企業3社を経て、2016年より現職。

2012年には一般社団法人地域デザイン学会の立ち上げに参画する。

LEC東京リーガルマインド大学 キャリア開発学部 非常勤講師「メディア社会論」
(2004年～2007年)

専修大学商学部 地域デザイン学会寄附講座「地域と食文化」を担当 (2016年)

2013年以降、父祖縁の地である兵庫県出身の大学生を支援するために、東京代々木で学生寮「尚志館」の経営にも従事している。

2019年以降、社会構想大学院大学にて、実務家教員養成課程で「実務家教員へのキャリアパス」講座を担当している。

2006年3月 多摩大学大学院 経営情報学研究科 博士課程前期修了、MBA (修士・経営情報学)

農林水産省「ランナース・ヴィレッジプロジェクト」 (2017年)

環境省「高梁川流域学校プロジェクト」 (2017年)

内閣府「クールジャパン地域人材育成プロジェクト」 (2018年)

資源エネルギー庁「エネルギー構造高度化人材育成プロジェクト」 (2019年)

文化庁「文化芸術収益力強化事業<サバイブのむすびめ>プロジェクト」 (2020年)

愛知県「三河山間地域の農山村の起業家育成プロジェクト」 (2021年) 等のプロジェクトに携わる。

執筆記事

『スロースタイル』(共著 新評論 2007)

『地域デザイン戦略総論』(共著 芙蓉書房 2013)

『食文化のスタイルデザイン』(共編著 大学教育出版 2015)

『実務家教員の理論と実践』(共著 社会情報大学院大学出版部 2021)

事業構想に伴走する講師陣（イメージ）

クリエイティブ発想法



渡邊 信彦 教授
(株)Psychic VR Lab取締役 COO

大手Sierにて金融機関のデジタル戦略を担当。2006年執行役員。2011年オープンイノベーション研究所所長を歴任。その後、起業イグジットを経て、Psychic VR Labの設立に参画。2017年2月取締役COO。2015年度より事業構想大学院大学の教員を務めるほか、各地の地域創生プロジェクトにも参画。事業構想研究所：各プロジェクト研究担当



事業収支計画

結城 秀彦 客員教授
日本公認会計士協会常務理事（監査保証・IT担当）
有限責任監査法人トーマツ パートナー 公認会計士

東京大学文学部国史学科卒業。監査法人にて、会計監査（総合商社等）や内部監査体制整備等の助言提供業務、監査メソッドロー及び監査ソフトウェアコンテンツ開発等に従事。この間、米国Deloitte&Touche Parsippany (New Jersey)にて会計監査、ドイツDeloitte&Touche Dueseldorffにて日系企業に対する監査・会計・税務業務支援に従事。公認会計士試験委員（管理会計論）を拝命（平成26年から29年まで）、日本公認会計士協会において、理事（IT担当）、保証実務専門委員会専門委員長を歴任。

マーケティング発想法

中島 好美 客員教授
ヤマハ(株)イオンフィナンシャルサービス(株)
JR貨物（日本貨物鉄道(株)） 社外取締役

早稲田大学 法学部卒。安田信託銀行（現みずほ信託銀行）、シティバンク、ソシエテジェネラル証券での要職を経て、2002年アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.に入社。トラベラーズチェック部門副社長、個人事業部門マーケティング担当副社長、2011年にシンカボールのカントリー・マネージャー（社長）を歴任。



八代 華代子
客員准教授
AMKコミュニケーション代表

フリーアナウンサー、元TV-JAPAN (N.Y.)アナウンサー、元北海道放送 (HBC) アナウンサー 担当科目「プレゼンテーション」



プレゼンテーション技法

構想計画・事業戦略・マネジメント

二之宮 義泰
特任教授

早稲田大学理工学部卒業、シカゴ大学経営大学院MBA卒業。アステラス製薬（旧 藤沢製薬）の北米進出・事業展開を現地に12年間ドライブした。その後、アストラゼネカ・グローバル本社（英国）シニアマネジメント、日本法人取締役を歴任。アポット ジャパン取締役副社長、ノリレディスファーマ代表取締役社長を経て、2015年よりダイナミックコンサルティング代表。



田沼 泰輔
特任教授

大学卒業後、博報堂入社。20年余り営業として広告ビジネスのフロントラインで顧客先のコーポレート・製品・サービスのブランディングプロデューサーや広告媒体取次業務に従事。2005年博報堂の企業内大学「博報堂大学」創設時メンバーの一員として、初代キャリア開発部長就任。2010年博報堂DYホールディングスイノベーション推進室グループマネージャーに業務出向、次世代経営人材育成に携わる。2017年起業を志し、事業構想大学院大学の門戸を叩く。



ダイバーシティーマネジメント

【その他ゲスト講師として参加予定】

- ・ 鏡 真吾氏 （シェアリングエコノミー協会理事）
- ・ 田尾 圭一郎氏 （CCCビジネスプロデューサー）

南相馬市プロジェクト研究 カリキュラム

日程：2022年5月～2023年3月 講師：青山 忠靖（ブルーのテーマはプレゼンテーションとなります。グリーンのテーマはフィールドワークとなります）

回	日程	テーマ	目標	研究内容
01	05/18（水） 13:00～17:00	前半：オリエンテーション 後半：地域の歴史と文化 （地域学芸員の方）	チームビルディングと地域に関する 歴史的な文化に関する知識を深めて もらう。	前半部分は今回のプロジェクトのオリエンテーションとインバスケットゲームを応用した チームビルディングを行う。後半では、学芸員の方による地域文化の歴史等に関する講義を 行なって頂き、地域へのより深い理解を求めている。
02	05/25（水） 13:00～17:00	事業構想と創造的思考	事業構想の本質を理解する	構想の7つの動機／新しい感覚の追求・経験の探求・制度への違和感・社会的課題・思想と 哲学・私的な世界観・地域と共同体等の動機的原因から各自の構想動機を誘発していく。 インバスケット演習の実施（グループ演習）
03	06/08（水） 13:00～17:00	クリエイティブ発想法 （渡邊信彦先生 2h）	誰でもできる創造的な発想法につ いて実践的に学習する	既存事業内容やメンタルモデルに囚われないアイデアを誘発させるための発想法を学習し た上で、グループ演習を行なっていく。
04	06/22（水） 13:00～17:00	ビジネスモデル発想法	構想アイデアをビジネスモデル化 して事業構想の骨幹を構築する手法 を学習する	豊富なビジネスモデル事例の解説を10項目程度受けた後に、講師が作成した仮想スト ーリーを題材としてビジネスモデルの作成演習をグループで行なっていく。
05	07/06（水） 13:00～17:00	マーケティング発想法 （中島好美先生 2h）	マーケティングの基礎知識を学習し てターゲット像の概念を理解する	ターゲットセグメンテーション、顧客創造、市場分析、プロモーション等の基礎知識を習得 していく。
06	07/20（水） 13:00～17:00	MaaS導入の可能性を探る	新技術がもたらす様々な矛盾につ いて理解を深め、方向性について模索 する。	京丹後市の「ささえ合い交通」のケーススタディを基に、ロックイン状態にある地域交通シ ステムをロックアウトする方策としての地域MaaSの実現と可能性を議論する。EU圏内に於 ける最新のMaaS動向等、海外のケーススタディも行なっていく。
07	08/03（水） 13:00～17:00	アートとビジネスの融合	アートとビジネスを融合させ、全く 新しい切り口でプロダクトアウトを 行っていく手法について理解する	日本センチュリー交響楽団×オンキヨー×旭酒造のプロジェクトによって生まれた清酒 「磨」は、オンキヨーの特殊なアンプを用いて交響曲を醸造樽に響かせ、その振動によっ て旧来にないフルーティーな日本酒となった。こうした事例を基に最新のアート&ビジネスの 融合という可能性を全員で追求していく。
08	08/17（水） 13:00～17:00	SDGsと1次産業の イノベーション	農業・漁業を中心としてSDGsに関 する認識を深めてもらいながら新しい 第1次産業の事業展開を探る	日本の農業・漁業が抱える問題点を抽出し、SDGsの視点からこれからあるべき1次産業 事業の方向性を議論していく。葉山漁協とJAはやまの協働事業「キャベツサザエ養殖」等の ケーススタディを基に新しい1次産業プロジェクト等を考えるグループ演習も行なっていく。
09	08/31（水） 13:00～17:00	自然栽培農法と6次産業化 （フィールドワーク） 鹿嶋パラダイスファーム見学	自然栽培農法とその6次産業化の事例 をフィールドワークで体感する	完全有機農法で小麦や米、野菜を生産する茨城県鹿嶋市の農業法人「鹿嶋パラダイスファ ーム」の圃場とビール工場及び直営レストラン、ドーナツ店を訪問し、有機農法と6次産業化 に関するフィールド調査を実施する。完全有機農法の可能性と未来を考察する。
10	09/14（水） 13:00～17:00	シェアリングエコノミーを考える （ゲスト講師 シェアリングエコ ノミー協会理事 鏡昌吾氏 2h）	消費に代わる新しい概念としての シェアリングエコノミーについて考 察する。	シェアリング・ビジネスという新しい事業形態について学習していく。後半は鏡氏も交えな がらグループ演習を行なっていく。
11	09/28（水） 13:00～17:00	ローカルメディアと地域活性	ローカルメディアという文化的な装 置を使った地域社会の活性化手法に ついて学習していく	北九州市役所が発行するローカルメディア「雲のうえ」、福岡市の小さな介護施設「宅老所 よりあい」が発行していた『おもしろ雑誌ヨレヨレ』、大阪枚方市の元芸人が主催する『枚 方よしん』等のケーススタディを学習しながら、ローカルメディアと地域活性の可能性を 探っていく。後半はグループ演習で地域のローカルメディアを考察する。
12	10/05（水） 13:00～17:00	ウェルビーイングとヘルスケア （二之宮義泰先生 2h）	ウェルビーイングとヘルスケア事業 に関する最新の知識と事例を学習し ていく	ウェルビーイングとは何か？なぜ、それが必要とされるのか？最新のヘルスケアビジネスと はどこまで進化していくものなのか？地域におけるウェルビーイングとは何を指していけ ば良いのか？等の最新のナレッジを学習する。後半はグループ演習を行う。
13	10/19（水） 13:00～17:00	まちづくりビジネス エリアマネジメントと実験事業	団地再生、シャッター通の活性化等 の事例を通してエリアマネジメント の手法に基づいた事業構想を学ぶ。	エリアマネジメントによる実験事業というコンセプトを学習していく。地域を限定し、ゴー ルを設定し、自治体も含むステークホルダーと連携して実験事業を実施するプロセスを、団 地再生やシャッター通の活性化といった事例を交えて解説していく。後半はグループ演習。
14	11/02（水） 13:00～17:00	カルチュラル・ビジネス （ゲスト講師：CCCビジネスプロ デューサー 田尾圭一郎氏 2h）	高速道路のサービスエリアを複合的 な文化事業施設としてリ・デザイン できないか？こうした切り口で新し いビジネスモデルを模索する	CCC鳥屋書店の傘下となった雑誌「美術手帖」のビジネス・プロデューサーとして様々な プロジェクトに携わる田尾圭一郎氏を講師として招く。 この講義では、サービスエリアを複合的な文化的施設として、ビジネス展開する方向性など を受講者とともに議論していきたい。
15	11/16（水） 13:00～17:00	新しい観光事業の戦略	アルペルゴディフーソ、農泊、まち 歩きツアー、オタクスケープによる 聖地巡礼等の新しい観光事業を学ぶ。	兵庫県丹波篠山市のアルペルゴディフーソ事業、新しい農泊の流れや、都市圏で大きな支持 を拡大して急成長する「まち歩きツアー」事業モデルの分析など、実践的かつ事業構想のヒ ントにもなる新しい観光事業について学習する。後半はグループ演習を行う。
16	11/30（水） 13:00～17:00	社会課題をビジネスで解決する （フィールドワーク） OMUSUBI不動産訪問	社会課題をビジネスという手法で解 決させていく新しいビジネスモデル を体感する	卓越したアイデアを実装させるためには精緻なオペレーションのデザインが求められる。 空き家問題という社会課題に取り組みながら、「DIY可能賃貸住宅」という新しいビジネス モデルを開発したOMUSUBI不動産を訪問し、社会の問題をビジネスという手段で解決し ていく手法について学習していく。
17	12/14（水） 13:00～17:00	第1次中間発表会	各自の事業構想計画を発表して第三 者の評価を受ける	事業構想基礎課程・事業構想拡張課程で学習したナレッジを応用しながら、受講者各自の事 業構想計画を発表していく。受講者の職場の上司などの関係者が出席する。
18	01/11（水） 13:00～17:00	事業収益構造の再構築	受講者各自の事業構想において最も 脆弱な部分となるであろう収益構造 を最適化させていく	価値創出、コストの明確化・コスト管理、収益構造の明確な構造化など、ややもすると曖昧 になりやすい部分にフォーカスした学習の実施。
19	01/25（水） 13:00～17:00	事業収支計画 （結城英彦先生 2h）	事業構想に於けるアカウンティング とファイナンスを理解する	事業収支計画の構築について学習する。
20	02/08（水） 13:00～17:00	第2次中間発表会 （渡邊信彦先生他）	各自の事業構想計画を発表してMPD 教員の評価を受ける	第1次中間発表会での反省事項を折り込み、また事業収益構造の精度を高めた事業プランを経 験豊かなプロの目で評価をしてもらう。
21	02/22（水） 13:00～17:00	ダイバーシティを考える （田沼泰輔先生 2h） 事業広報計画の実践	ダイバーシティマネジメントに関す る基礎知識と社会動向の理解。 自らの事業構想計画をどのように社 会に広報させていくかの理解。	ダイバーシティ総合研究所の代表でもある本学田沼教授より、ダイバーシティマネジメント に関する基礎知識を学習していく。 コストを限りなく抑えた「ひとり広報」の手法を習得していく。マスメディアの取材交渉の 具体的な手法やニュースリリースの書き方等の個人演習も行なっていく。
22	03/08（水） 13:00～17:00	構想計画構築演習 1	収益構造・コスト管理・リスク対 策・顧客との関係性構築等を重点的 に検討していく	個別指導及び全体討議
23	03/22（水） 13:00～17:00	構想計画構築演習 2	パートナー構築・事業オペレーシ ョン等の精度を検討していく	個別指導及び全体討議
24	03/31（金） 13:00～17:00	最終プレゼンテーション	精度の高い事業構想を発表する	事業構想計画発表と個別評価及び全体総括。参加者からの感想等

※随時、教員との個別相談が可能です。

事業構想スピーチ（任意参加）

- 毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

ネットビジネス
リーダー

都市計画・建築家

最先端分野研究者

最先端企業経営者

地域活性 実践者

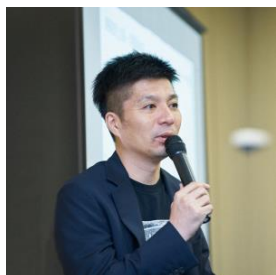
社会起業家

クリエイター

哲学者

ブランド
マネージャー

過去の登壇例



藤田 晋

サイバーエージェント
代表取締役社長



おち まさと

プロデューサー



増田 宗昭

カルチュア・コンビニエンス
・クラブ
代表取締役社長



角 和夫

阪急阪神ホールディングス
代表取締役会長



コシノ ジュンコ

ファッションデザイナー



笹本 裕

Twitter Japan
代表取締役



谷田 千里

タニタ
代表取締役社長



出雲 充

ユーグレナ
代表取締役社長



長谷部 健

渋谷区長



渡部 一文

アマゾンジャパン
バイスプレジデント

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。

◎研究員証



◎名刺



◎個別相談



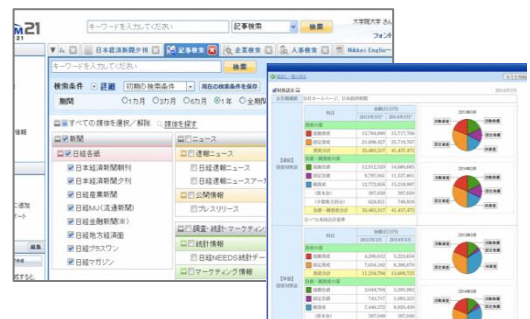
◎事業構想スピーチ（年40回開催）



◎研究修了証



◎オンラインデータベース・アーカイブの活用



◎大学院環境（図書館・サロン）の活用



- ・履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- ・名刺、身分証の発行・貸与。
- ・大学院主催年約40回の「事業構想スピーチ」への参加。
- ・図書室やサロンなどの施設の活用。
- ・オンラインデータベースの利用。
- ・アーカイブ視聴。
- ・希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- ・担当教授に随時相談可能

個人情報の取り扱いについて

本大学院が出願書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④選考方法等における調査・研究、⑤本大学院からのお知らせ、⑥これらに付随する業務を行うために、事務局、担当教授が利用します。

申込・問い合わせ先

学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学 事業構想研究所

担当：仙台校 木村 大泉

〒983-8477

宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1

JR仙台イーストゲートビル7階

お問い合わせフォーム

https://www.mpd.ac.jp/?post_type=events&p=9296&preview=true



学校法人 先端教育機構
Advanced Academic Agency



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所